

2018年度 事業の概要

[2018年4月1日～2019年3月31日]

2018年度の年間取引量は、グロスビディング、間接オークション等の寄与により、前年度の約3.5倍の2,104億kWhとなった。また、スポット取引の年間平均価格は、前年度とほぼ同水準の9.76円/kWhであった。この間、当所では、電力システム改革における検討状況なども踏まえ、卸電力市場の整備・活性化に資する施策の検討・実施に取り組んだ。

1. 現物の電気の売買市場

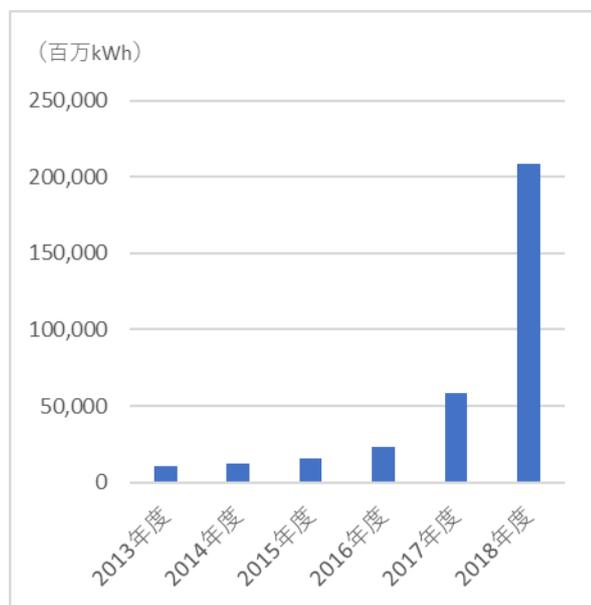
① 主な取引の取引量等の推移

	会員数 (期末) (社)	総取引量 (百万 kWh)	取引の種類			スポット取引 (システム・ライズ) 平均価格 (円/kWh)
			スポット取引 (百万 kWh)	時間前取引 (百万 kWh)	先渡市場取引 (百万 kWh)	
2013年度	81	11,320	10,285	843	※191	16.51
2014年度	109	13,698	12,601	864	※234	14.67
2015年度	130	16,803	15,396	1,312	※95	9.78
2016年度	124	24,724	22,962	1,660	102	8.46
2017年度	135	60,867	58,592	2,226	48	9.72
2018年4月		11,195	11,085	109	1	8.20
5月		11,715	11,610	103	1	8.79
6月		11,909	11,788	115	5	9.15
7月		14,110	13,851	209	34	12.54
8月		14,220	13,985	218	16	12.24
9月		13,084	12,867	217	0.2	9.69
10月		19,897	19,729	167	0	9.81
11月		20,458	20,293	161	3	9.99
12月		23,885	23,724	156	4	9.92
2019年1月		24,898	24,788	109	1	9.95
2月		22,812	22,723	88	0	8.93
3月		22,287	22,195	90	1	7.70
2018年度		163	210,460	208,642	1,747	70

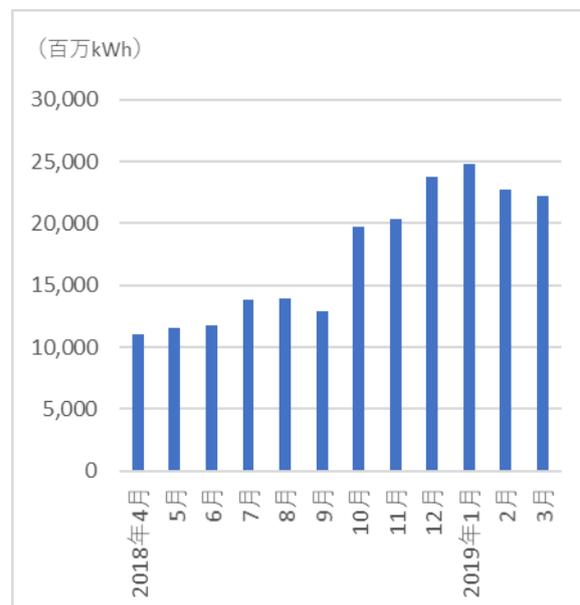
※ 先渡市場取引：2013年度から2015年度の取引量には先渡定型取引の取引量を含んでいる。

②スポット取引 取引量の推移

年度別

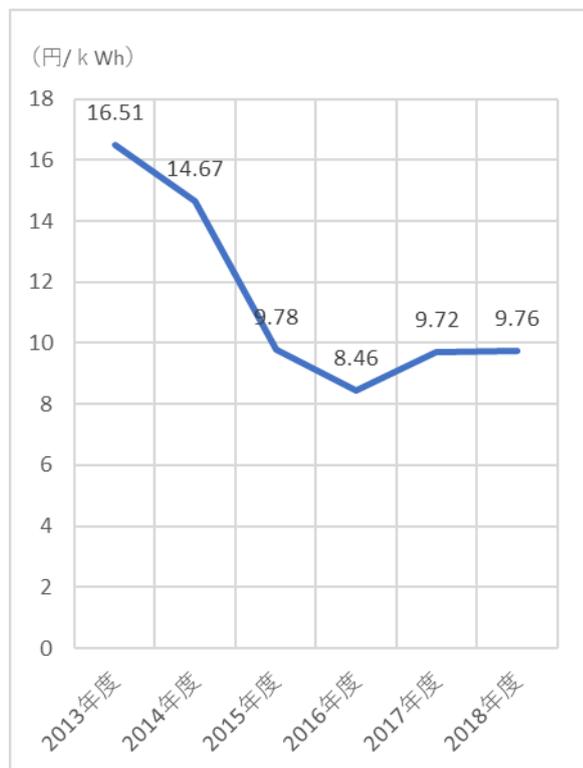


2018年度月別

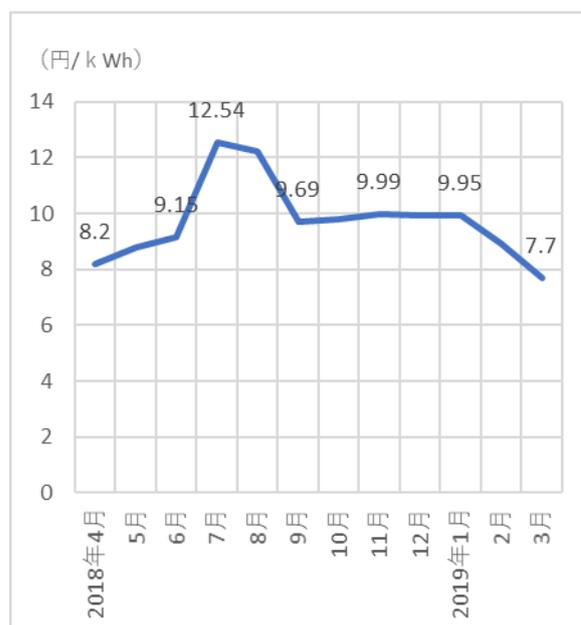


③スポット取引 システムプライス(平均価格)の推移

年度別



2018年度月別



2. 非化石価値の売買市場

○約定量等の状況

取引名	2017年度非化石証書取引 通年
約定処理日	2018年5月18日
約定量	5,155,738kWh
約定最高価格	4.00円/kWh
約定最安価格	1.30円/kWh
約定量加重平均価格	1.30円/kWh
入札参加会員数	26
約定会員数	26

取引名	2018年度非化石証書取引 第1回	2018年度非化石証書取引 第2回	2018年度非化石証書取引 第3回
約定処理日	2018年8月10日	2018年11月9日	2019年3月1日
約定量	2,241,311kWh	21,020,374kWh	8,557,640kWh
約定最高価格	4.00円/kWh	1.40円/kWh	4.00円/kWh
約定最安価格	1.30円/kWh	1.30円/kWh	1.30円/kWh
約定量加重平均価格	1.30円/kWh	1.30円/kWh	1.30円/kWh
入札参加会員数	7	9	40
約定会員数	7	9	40

3. 主な取り組み事項

年月	主な取り組み事項
2018年	
4月	IEX(インドの電力取引所)との MOU 締結 非化石価値取引市場に関する説明会 開催
5月	取引監視・取引検証 四半期報告 (平成 29 年度 冬期) 非化石価値取引(FIT 分)の開始 (18 日) : 2017 年度通年
6月	
7月	
8月	取引監視・取引検証 四半期報告 (平成 30 年度 春期) 2018 年度第 1 回非化石価値取引 先渡商品の清算価格をシステムプライスからエリアプライス(東京、関東)に変更 間接オークション実施に伴う取引所利用に関する説明会 開催
9月	北海道胆振東部地震 : 北海道エリアのスポット取引停止 (9/7~9/26 受渡分) スポット取引の最小取引単位の引下げ : 500kWh→50kWh
10月	スポット取引における間接オークション開始 (1 日)
11月	取引監視・取引検証 四半期報告 (平成 30 年度 夏期) 2018 年度第 2 回非化石価値取引 第 2 回間接送電権の在り方等に関する検討会 開催
12月	
2019年	
1月	電力・ガス新ビジネス EXPO 出展 (1/30~2/1)
2月	取引監視・取引検証 四半期報告 (平成 30 年度 秋期) 電力・ガス基本政策小委員会 プレゼン実施
3月	2018 年度第 3 回非化石価値取引

4. 2019年度の主な取り組み

電気事業法第97条第1項に基づく指定を受けた卸電力取引所として、開設する取引市場の公正性・透明性・信頼性・利便性の向上に努めるとともに、現物の電力の卸取引の機会の拡大、指標性のある価格の形成と発信を通じ、電気事業の発展に寄与することを目的とする。特に「中間論点整理」(第二次)、「電力・ガス基本政策小委員会制度検討作業部会 中間とりまとめ」等に示された各施策の準備・実施等に係る課題に注力する。

○卸電力の取引機会の拡大及び指標性のある価格の形成に向けた主な取り組み

- ①間接送電権取引市場の開設
- ②ベースロード市場（以下、BL市場）の開設
- ③非化石価値市場の拡充

○市場開設業務の適確な実施に向けた主な取り組み

- ①間接送電権市場、BL市場等、新たな取引に必要なシステム機能の構築
- ②中長期的なシステム構想の策定
- ③運営体制の強化
- ④関係機関との連携強化